

The Magnetics Society of Japan



概要

沿革 1977年—学振137委員会メンバーを母体に日本応用磁気学会が発足
1982年—社団法人認可
2007年—日本磁気学会に改称
2010年—公益社団法人の認可を受ける

分野 磁気物理, 磁性材料, スピントロニクス, 磁気応用, 磁気記録,
生体磁気, センサ, アクチュエータ, エネルギーゲネティクス 等

活動 学術講演会, 研究会, 専門研究会, 国際会議の主催・共催, 講習会,
国際交流

会員 日本国内・海外より, 物理学・化学・工学・生物学や医学など異なった
分野から, 磁気に関心を持って集まった会員1,700名

賛助会員 約60社

所在地

事務局 〒101-0052 東京都千代田区神田駿河台1-8-11
東京YWCA会館 207号室
Tel. 03-5281-0106
Fax. 03-5281-0107
E-mail: msj@bj.wakwak.com
URL: <https://www.magnetics.jp/>

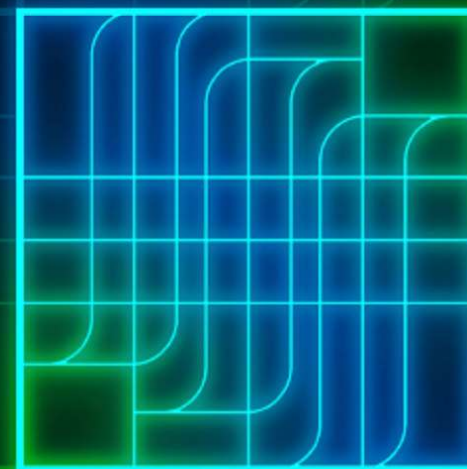


アクセス 【JR】
中央線・総武線 御茶ノ水駅 聖橋口より徒歩8分

【地下鉄】
・千代田線 新御茶ノ水駅B3出口より徒歩5分、B5出口より徒歩5分
・都営新宿線 小川町駅B5出口より徒歩5分
・丸の内線 淡路町駅後楽園・池袋方面ホーム: B5出口より徒歩10分、
銀座・新宿方面ホーム: A3出口より徒歩13分



日本磁気学会のご案内

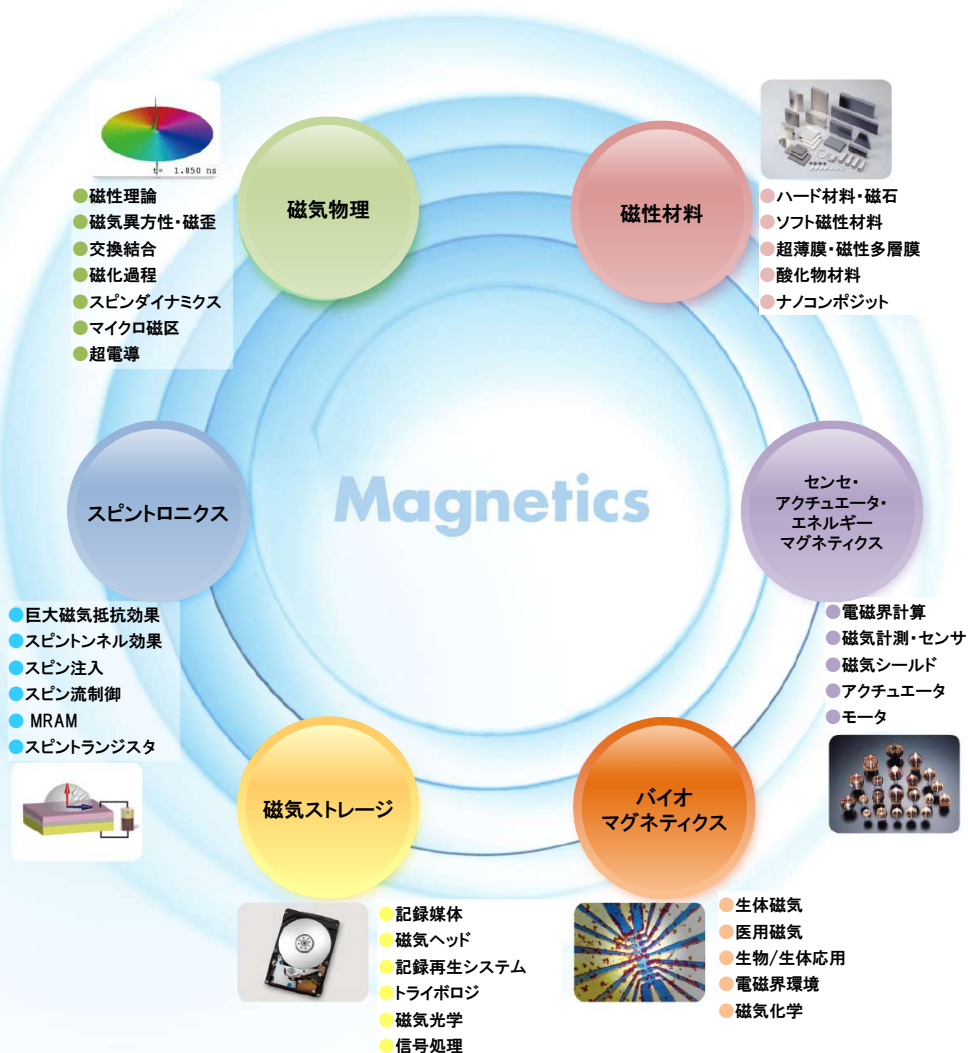


The Magnetics Society of Japan

(公社)日本磁気学会
<https://www.magnetics.jp/>

基礎から応用まで、磁気に関する問題を追及。 わたしたちは、日本磁気学会です。

日本磁気学会は、物理学、化学、工学、更には生物学や医学といった、全く異なった分野の多様な価値観を持つ会員が、磁気・磁性というキーワードのもとに集まって構成されているユニークな学会です。討議の内容も非常に幅広く、磁性物理や磁性理論、磁性材料、スピントロニクス、磁気ストレージ、エネルギーマグネティクス、磁気センサから、生体磁気・医療応用へと多岐にわたっています。その学問的深さ、広がりや産業応用への寄与は、計り知れません。今後も、「国際化」をキーワードに、活動のフィールドは広がり続けるでしょう。



学術講演会、研究会、講習会から 国際交流まで活動内容も多彩です。

学術講演会

学術講演会は、毎年秋に行われます。毎回約600人の参加者と約400件の研究報告が行われ、熱心に討論が展開されます。優れた発表・論文には表彰を行っています。また、男女共同参画にも積極的に取り組んでいます。

専門研究会

専門研究会は、各テーマごとにおよそ隔月で開催されます。ナノマグネティクス、スピントロニクス、化合物新磁性材料、強磁場応用、化合物新磁性材料、光機能磁性デバイス・材料など学会の主要課題を深く掘り下げる一方で、毎年新規テーマ導入を模索しています。



研究会

研究会では、学会・業界の最先端の話題を特集します。毎回、50名前後が参加し、活発な討論が行われます。

- 医療と磁気の現状と将来展望
- 高周波用磁気デバイス・材料・評価技術の現状と新展開
- 次世代高効率モータの最近の進展
- 強磁場の分析応用
- 複合アニオン化合物磁性材料の最前線

岩崎コンファレンス

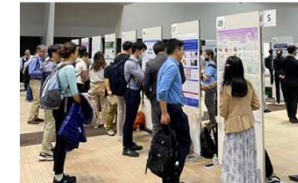
岩崎コンファレンスは、磁気及び磁性に関する科学と技術の開拓と深化並びにその社会統合について議論する会議として企画されました。年に一度テーマを設けて、その最先端の研究成果と将来への発展について時間をかけて議論しています。

国際交流

下記の国際会議を主催/共催しています。

- INTERMAG, ICMなど
- 熱と磁気に関する国際WS (MORIS)
- 磁性材料の物理的諸問題国際シンポジウム (ISPM)

さらに、韓国磁気学会(KMS)、台湾磁気技術協会(TAMT)および中国磁性材料及応用学会(CSSMA)と連携しアジア磁気学会連合(AUMS)を結成し、国際会議にAUMSを開催するなど、アジア地域との交流も一層の充実を図っています。



情報発信

WEBや電子メールを利用して磁気に関する最新の情報を発信しています。

- 電子ジャーナル
- 技術情報サービス
- メールマガジン
- Facebook

研究会等の共催・協賛

学会内の活動に止まらず、他学会・協会との共催、協賛を積極的に行なうことで、活動の幅を広げています。(毎年30件以上)

教育活動

磁性分野を学びはじめた新会員を中心に磁性の基礎を学習するための講習会を毎年、開催しています。

- 初等磁気工学講座(1日, 演習付き)
- 日本磁気学会サマースクール(3日間)
- 公開講座「磁石の不思議な世界」



会員

会員数は、約1,700名で、日本国内に止まらず、海外の会員も約50名に達しています。理学と工学の融合を目指して1977年の設立以来、密度の高い活動が続ける日本磁気学会。ネットワークが軽く、内容の濃い情報交換が迅速に行なえるのも、わたしたちの学会の特徴です。

表彰

磁性分野の学術の発展に寄与された方に賞が授与されます。毎年開催される講演会において、学会賞、業績賞、優秀研究賞、女性研究者賞(いつくしみ賞)、論文賞、学術奨励賞、出版賞、新技術・新製品賞、学生講演賞、技術賞および学会活動貢献賞などが表彰されます。

会員特典

学会行事は、全て会員によって運営されています。全ての行事に会員は自由に参加でき、発言できます。その他、数々の会員特典が用意されています。

- 会報誌「まぐね」及び英文誌「日本磁気学会誌」(Journal of Magnetism Society of Japan)を無料配布します。また、論文誌をWEB上で閲覧できます。
- 磁性に関する最新情報をWEB上で閲覧できます。(技術情報サービス)
- 講演会に参加して研究成果を発表できます。
- 本会主催の講演会・シンポジウム、研究会・専門研究会などに参加できます。
- 本会の協賛・後援の講演会やシンポジウムなどに会員資格で参加できます。
- 学生会員は、各種講演会、シンポジウム等に格安の学生会員料金で参加できます。
- 賛助会員の特典は、本会の協賛・後援の講習会やシンポジウムなどに会員資格で参加できます。



入会について

- 会員種別は、正会員、学生会員、賛助会員の3種です。いつでも入会できます。
- 入会手続きについては、ホームページをご覧ください。<https://www.magnetics.jp/>
- 入会金と年会費は、次のとおりです。

会員種別	入会金	会費(年額)
正会員	2,000円	10,000円
学生会員(学生会費)	1,000円	5,000円
学生会員(学生会費不要)	1,000円	3,000円
賛助会員(1口)		50,000円